

2020 年度業務実績報告書

提出日 令和 3 年 1 月 19 日

1. 職名・氏名 准教授 デンマン ジャレット リー レナルド

2. 学位 学位 博士、専門分野 日本学、授与機関 クイーンズランド大学、授与年 平成 26 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 英語 I（3 コマ、各 1 単位） 英語 II（4 コマ、各 1 単位） 英語特論 IVE（2 コマ、2 単位） 異文化理解（1 コマ、2 単位） 日本の文化と社会（講義 1 回分） 現代人権論（講義 1 回分）
② 内容・ねらい 英語 I・II では、ペアワークを通して英語の 4 技能を実践的に使いながら、コミュニケーション能力を向上させた。オーストラリアへの海外研修に興味を持たせるための課題も実施した。 前期の英語特論では、ペアワークを通して英語の 4 技能を実践的に使いながら、コミュニケーション能力を向上させた。オーストラリアへの海外研修に興味を持たせるための課題も実施した。 後期の英語特論では、LEAP オンライン 2020 春のプログラムへ向けて、英語の 4 技能を強化した。オーストラリアに関する記事や動画を通して、現地の事情を学ぶための課題も実施した。 異文化理解では、日本語の教科書を基に、英語の講義を通して異文化について理解を深め、異文化理解の入門的な知識が身に付く内容とした。 日本の文化と社会では、「人が場所から場所へ移動する理由」という講義を 1 回行った。 現代人権論では、オーストラリア日系人の強制収容について講義を 1 回行った。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 すべての科目において遠隔授業が多かったため、Zoom 上で授業ができるように資料を作り直したり、アクティビティやテストの形を変えたりした。 英語 I・II では、リスニングとライティングのログを導入した。リスニングのログは、ネイティブが話す英語に慣れ親しむため、オーストラリアで流れている番組や動画などを定期的に視聴する課題とした。ライティングのログは、英語で文章を書くことに自信をつけるため、「フリーライティング」というアクティビティを定期的に行う課題とした。 後期の英語特論では、オーストラリア現地の大学生とのオンライン交流会を実施した（11 月 26 日）。 異文化理解では、異文化理解の根本的な概念をよりよく理解できるようにするためテキストを変更した。そのため、各講義の資料を作り直した。
(2)その他の教育活動
内容 LEAP オンライン 2020 春という新プログラムの立ち上げに取り組んだ。 フィンドレー大学交換留学面接員を務めた、3 月 5 日、3 月 16 日。 社会福祉学科の 4 年次生のインタビュー調査に参加した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等 Japanese lives in Australia's ethnic community: An analysis of interviews in a Japanese-language newspaper、オーストラリア学会第31回全国研究大会、令和2年6月、単独。	【1件】
⑤その他の公表実績	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等 オーストラリア学会第31回全国研究大会に参加、6月13日。 福井県立大学舟木研究室の第1回オンライン研究会「越前市の多文化共生施策の現状」に参加、6月21日。	

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
国際交流委員会、平成 28 年 4 月～現在に至る。 研究・広報委員会、令和 1 年 4 月～現在に至る。
(3)学内行事への参加
全学ミーティングで LEAP プログラムについて発表した、7 月 29 日。 全学ミーティングに出席、2 月 19 日、7 月 1 日、7 月 29 日、9 月 30 日、10 月 19 日、12 月 23 日。 オープンキャンパスの際、学術教養センターのイベント開催に携わった、7 月 19 日。
(4)その他、自発的活動など